京都のINGを CHECK IT OUT!!

口コミ情報カタログ

おもろいもん

エッチな妄想は天井知らず 嗚呼、男っていったい…

最近、見かけないエッチな下着の販売機、もし見かけても素通りを決め込むのが関の山。しかし、新たに発見した販売機をチラリ見ると、数並ぶボタンの中で唯一明々と輝く売り切れランプ！が、隣には同型色違い商品の在庫有り！　「価格1800円vs妄想、2対8で妄想の勝ち」。…で、プッシュ！　そして出てきたのが「♥透明ビニールヒモ付き三角Tバック♥（パープル）」。需要と供給の絶妙なバランス。込み上げる含み笑いと共にポケットへ…。

奔放な女性モノだけでなく怪しげな男性モノも自動販売。開脚、コレ等を買い求めるカップルはラブラブか倦怠期か？

もはやサスペンダーか水中メガネな仕上がり。ちなみに、売り切れていたのはこのタイプのレッド、う〜ん納得？

中京区・四条大宮付近の某所

旨いもん

今月のオレが甘かった

辛さの素はもみじおろし。「おいしい」と感じる辛さに止めた激辛つくね、1本100円。

一度来た客の顔は忘れない 辛い罠は失言から始まる…

元柔道選手だった大将（納得！）は信心深いのか、店名「文福」は晴明神社で授かったもの。焼鳥歴15年の求道者なり

文福　ぶんぷく
京都市右京区西院東貝川町19
ラ・メゾン・ブランシェ2F
☎075・316・1600
営11:30〜13:30
17:00〜24:00／水休

四条通を西へ走ると必ず出合う「激辛つくね」の看板。焼鳥奉行の闘争心に火を点けるこの店に、挑戦状を叩きつけたるっ！の荒い鼻息も大将の巨漢を目にしたら一気に消沈。そして炭火の洗礼を受けて現れたブツは、心なしか赤ら顔。口中火災を覚悟して一口めを運べば、癖になりそうないい塩梅の刺激。「意外と激じゃないね」と口走ったら、「あ、そう。次回とんでもない味にするかもな、フフ」と不適な笑い。この大将＆つくねには要警戒。

林的映画三昧

イラストと文
ハヤシチサコ

ハヤシチサコ・無類の映画好きのイラストレーターにしてグラフィックデザイナー。「Club Fame」時代には、彼女のデザインが表紙を飾ったこともアリ。編集部の熱望により本誌への登場と相成った。

キネマストリート大映通り商店街編　vol.5

商店街そぞろ歩き

日本のハリウッドを見守る 映画と育った友好的コミュニティ

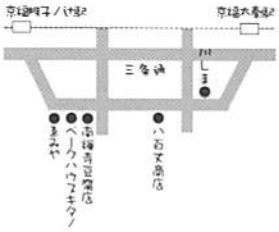
銀幕を賑わせた往年の大スターも闊歩した太秦〜帷子ノ辻を結ぶ商店街。映画衰退を叫ばれ、さざめきしいかろうと思いきや、ウ〜ンなかなかどうして、黄昏時ということもあってか、地元人らしき人々が多数往来。最初に目に止まったのは眉カット300円を奉仕する「あみや」。眉メイクのノウハウを聞きつつ、10分ほどでキリリ眉完成！　気分も上々に歩を進めると、「ベークハウスキタノ」が出現。パンを店員さんに取ってもらうスタイルは、まさにケーキ選びのウキウキ感と同様。「南禅寺豆腐店」では、毎日豆乳を愛飲する近所のおばちゃんと共に店頭がぶ飲み体験。「八百文商店」横に設置されたジュースの自販機は、「夏のサービス」、「敬老の日サービス」などをマメに講い、年中創下げ価格ときたもんだ。「撮影所クンが通った」「津川雅彦御用達の店」などの芸能情報は日常レベル。ロケ地としてしばしば登場するベテラン役者のこの街は、京都映画の知られざるメインキャストかも。

通りの東半分に完成した路面のフィルムデザイン。車の減速も促す効果も狙った、ココならではの機能美

1500円のフェイスエステもあり。眉カットをしながらすかさずお肌の荒れも指摘するあなどれぬ戦術

豆乳はコップ1杯100円。日課のように訪れては飲んでいく地元のおばちゃんは数知れず

食料品店「八百文商店」と旅行代理店「フルーティツアー」を営むご主人自筆のサービス告知



開店1年半の新参店ながら、すっかり地元の奥様方に好評。表のハイビスカスは店長のお宝

番外編。味わうことはできぬままだが、珈琲とうどんを看板に違和感不可思議さ。おばちゃんが1人で営むこだわりのうどん屋らしい。夜は予約制